空　　港

航空需要の増加，航空機の大型化，高速化などに対処するとともに，航空輸送の安全性向上や，騒音問題等環境対策を強化することを主目標に，事業費 5 600 億円を投じ策定された第二次空港整備 5 か年計画の最終年度にある昭和 50 年度の主要工事概要は以下のとおりである．

第 1 種空港については，東京国際空港は，最近主要施設の老朽化が著しく，早急に改良することが急務となっているが，新東京国際空港が開港して当空港が混雑緩和した状態でないと本格的な改良工事は難しく，滑走路，誘導路，エプロン等の部分的な改良工事にとどまった．

名　　称	デ　　ー　　タ
大阪国際空港整備事業〔② 大阪府豊中市，③ 35% 完成（昭和 50 年 12 月 1 日現在）〕	事業実施箇所：大阪国際空港　事業主体：運輸省第三港湾建設局　工事期間：昭和 50 年 5 月 8 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：9 億 6 000 万円　排水路新設工事：390 m　A滑走路改良：延長 1 828 m，アスコンかさ上げ（t=26 cm）　エプロン新設：1 万 4 000 m²，コンクリート（t=28 cm）B-727 対象場周道路：道路工 2 770 m²　施工業者名：大林道路・協和道路
名古屋空港整備事業〔② 愛知県西春日井郡豊山町，③ 40% 完成（昭和 50 年 12 月 1 日現在）〕	事業実施箇所：名古屋空港　事業主体：運輸省第五港湾建設局　工事期間：昭和 50 年 4 月 9 日～51 年 3 月 20 日　事業予算：5 億 1 000 万円　排水工事：遊水池，水路新設　エプロン新設：1 万 1 000 m²，コンクリート舗装（t=34 cm）DC-8-63 対象　エプロン改良：4 万 5 000 m²，アスコンかさ上げ　上駐車場：緑地帯工　施工業者名：日本舗道
函館空港整備事業〔② 函館市高松町，③ 80% 完成（昭和 50 年 12 月 1 日現在）〕	事業実施箇所：函館空港　事業主体：北海道開発局　工事期間：昭和 50 年 6 月 3 日～51 年 3 月 25 日　事業予算：6 億 7 000 万円　滑走路延長：延長 37 m，路盤工（t=80 cm）エアバス対象　誘導路新設：延長 228 m，路盤工（t=80 cm）エアバス対象　用地造成：場周道路 1 200 m，張芝工 2 万 400 m²　施工業者名：大林機械開発
新秋田空港整備事業〔② 秋田県河辺郡雄和町，③ 9% 完成（昭和 50 年 12 月 1 日現在）〕	事業実施箇所：秋田県河辺郡雄和町　事業主体：秋田県　工事期間：昭和 50 年 5 月 19 日～51 年 3 月 25 日　事業予算：23 億 2 000 万円　用地造成：土工事（切土，盛土）70 m³，地盤改良 4 万 m³，函きょ工（減勢工・沈砂池を含む）2 500 m，工事用道路 6 500 m，試験盛土 8 万 m³　施工業者名：鹿島建設
下地島訓練飛行場整備事業〔② 沖縄県宮古郡伊良部（えらぶ）村，③ 32% 完成（昭和 50 年 12 月 27 日現在）〕	事業実施箇所：沖縄県宮古郡伊良部村　事業主体：沖縄県　工事期間：昭和 50 年 4 月 1 日～51 年 3 月 25 日　事業予算：〔10 億円〕国庫債務負担行為額（外書），13 億 3 000 万円（49 年度繰越分を含む）土工事：5 万 m³　共同溝：207.4 m　排水工：皿型 2 373 m　暗きょ工 1 199 m　滑走路：コンクリート舗装 1 200×60 m，アスファルトコンクリート舗装 1 200×60 m　誘導路：路盤工 8 万 883 m²（t=52 cm，97 cm，86 cm）　エプロン：路盤工 6 万 3 839 m²（t=30 cm）　道路：進入道路 3 518 m（うち，112.8 m 橋梁）　施工業者名：竹中土木・大成道路・先嶋建設／協和産業／宮古交通 JV ほか

発　　電

石油危機およびそれに続く長期的な不況に伴い，昭和 49 年度の電気事業用年間発電電力量は 3 977 億 kWh と前年に比して落ち込むという現象を見せた．昭和 50 年度にはやや増加の傾向を示したものの従来のような大幅な伸びはみられず，このためひところ生じていた予備率の低下による需給のひっ迫は緩和された．さらに，資金難とも相まって，揚水発電所等の中には大幅に工期を延長されたり，着工を見送られたりしたものがあった．

名　　称	デ　　ー　　タ
新高瀬川発電所新設工事〔② 長野県大町市，③ 51% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：長野県大町市　事業主体：東京電力（株）　工事期間：昭和 46 年 12 月～57 年 9 月　事業予算：1 189 億円　最大出力：128 万 kW（揚水）　使用水量：644 m³/sec　有効落差：229 m　ダム形式：高瀬ダム（上池）／フィル，七倉ダム（下池）／フィル　堤高：176 m，125 m　堤体積：1 万 1 400×10³ m³，7 240×10³ m³　施工業者名：前田建設工業・飛島建設・鹿島建設ほか
舟明（ふなぎら）発電所新設工事〔② 静岡県天竜市，③ 79% 完成（昭和 50 年 12 月 15 日現在）〕	事業実施箇所：静岡県天竜市　事業主体：電源開発（株）　工事期間：昭和 47 年 11 月～51 年 8 月　事業予算：109 億円　最大出力：3 万 2 000 kW　最大使用水量：270 m³/sec　有効落差：14.5 m　ダム形式：コンクリート重力　堤高：24.5 m　堤体積：54×10³ m³　施工業者名：熊谷組・西松建設
手取川第一発電所新設工事〔② 石川県石川郡，③ 34% 完成（昭和 50 年 12 月 15 日現在）〕	事業実施箇所：石川県石川郡尾口村　事業主体：電源開発（株）　工事期間：昭和 49 年 11 月～54 年 9 月　事業予算：497 億円　最大出力：25 万 kW　最大使用水量：180 m³/sec　有効落差：162.4 m　ダム形式：ロックフィル　堤高：153.0 m　堤体積：1 万 102×10³ m³　施工業者名：前田建設工業・青木建設・奥村組ほか
奥清津発電所新設工事〔② 新潟県南魚沼郡，③ 72% 完成（昭和 50 年 12 月 15 日現在）〕	事業実施箇所：新潟県南魚沼郡湯沢町　事業主体：電源開発（株）　工事期間：昭和 47 年 5 月～57 年 9 月　事業予算：729 億円　最大出力：100 万 kW（揚水）　最大使用水量：260 m³/sec　有効落差：470 m　ダム形式：カツサダム（上池）／ロックフィル，二居ダム（下池）／ロックフィル　堤高：90 m，87 m　堤体積：4 500×10³ m³，2 350×10³ m³　施工業者名：鹿島建設・大林組・大成建設ほか
富村水力発電所新設工事〔① 富村発電所，②北海道上川郡．③ 10.2% 完成（昭和 50 年 12 月 20 日現在）〕	事業実施箇所：北海道上川郡新得町　事業主体：北海道電力（株）　工事期間：昭和 50 年 10 月 9 日～53 年 12 月 25 日　事業予算：106 億円　発電：最大出力 4 万 kW，使用水量 33.5 m³/sec，有効落差 140.5 m　ダム：ダム名／富村ダム，形式／コンクリート造り重力式，ダム高／37.0 m，堤体積／3 万 4 000 m³，有効貯水量／600×10⁶ m³　施工業者名：飛島建設・熊谷組・佐藤工業ほか